情報を伝える　魅力が伝わる　十日町市をもっと好きになる

とおかまち 市報

Public Relations

No.299
9 2017/10
平成29年9月10日号

友好交流都市「埼玉県和光市」特集

さあ、わこうに行こう

（2～5ページ）

撮影協力：和光市・和光市駅
和光市イメージキャラクター「わこうっち」(左) と「さつきちゃん」(右)

その他の主な内容

ピックアップニュース
6 魚沼圏域版新ナンバープレート導入実行委員会の設立
7 認知症に関する講演会･イベント
8 9月は「食生活改善普及運動月間」
10 9月は「新潟県自殺対策推進月間」
連載コーナー①
11 キラメキワーカーズ
12 タウントピックス
連載コーナー②
14 地元サポーター通信
15 お知らせ･ガイド
連載コーナー③
22 熱中･夢中／おらほのたから
24 ジュニア芸術祭

さあ、わこうに行こう

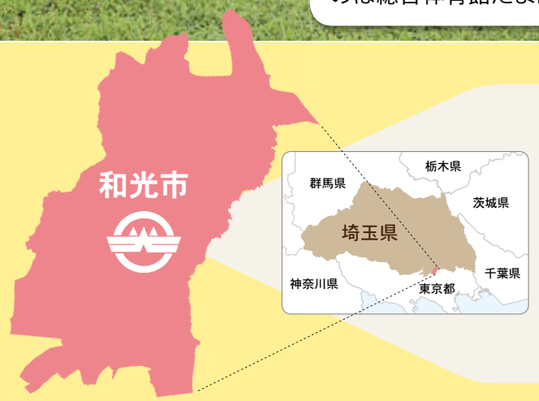
埼玉県和光市を知っていますか。十日町市の友好交流都市として、両市は産業・防災・スポーツなど、さまざまな分野での結びつきを強めています。今回、そんな和光市をネージュくんが訪れ、和光市イメージキャラクター「わこうっち」と「さつきちゃん」から案内してもらいました。

■問合せ＝企画政策課広報広聴係 ☎757―3112

ネージュくん、これは童謡詩人清水かつらさんの代表作を彫った石碑だよ。清水さんは和光市ゆかりの人なんだ。

ネージュくん、ここは樹林公園だよ。芝生広場が広いでしょう。奥に見えるのは総合体育館だよ。

わこうってどこ？どんなところ？



和光市は埼玉県の南端に位置、東京都に隣接しています。都心から20キロメートル圏内にありながら、自然にも恵まれています。また、市内には理化学研究所や本田技術研究所をはじめ、高度な研究・研修機関が集積する「知の拠点」となっています。

これからの季節、和光市は市の木であるイチョウが色づき、最も盛り上がる季節を迎えます。11月には多くの人に愛される「市民まつり」が開催され、毎年十日町市も物産品を出店しています。1月には、全国の鍋料理が集結する「ニッポン全国鍋グランプリ」を開催。身も心も温かくなる名物イベントには、毎年15万人が訪れます。

また、今年12月7日～11日には和光市初の国際大会「第10回アジア・エアガン選手権大会」が樹林公園内の総合体育館で開催されることが決まりました。2020年東京オリンピック・パラリンピックの「射撃競技」が、和光市の一部にかかる陸上自衛隊朝霞駐屯地に隣接する訓練所で開催されます。市ではそのプレ大会として位置づけ、大会運営のサポートを行うとともに、気運を盛り上げています。

ネージュくん、「ニホニウム」って知っているかい。「ニホニウム」は、ここ和光市にある理化学研究所が発見した113番目の元素なんだ。アジア初であるこの偉業を記念して、和光市駅から理化学研究所までの歩道を「ニホニウム通り」として整備しているんだ。沿線には、「ニホニウム」発見と命名を記念するモニュメントなどが飾られているよ。

「アクセス最高 ちょうどいいまち ちょっといいまち和光」へぜひお越しください

市の玄関口、和光市駅には東武東上線、東京メトロ有楽町線・副都心線が乗り入れており、池袋へ13分、渋谷へ24分、横浜へも49分で行くことができます。また東京外環自動車道のインターチェンジもあり、自動車でのアクセスも容易です。

和光市は緑や湧水などの自然もあり、静かで暮らしやすいまちです。銀座・渋谷・池袋など都心へのアクセスも非常に便利です。

また、十日町市から和光市までは、車だと関越自動車道経由で約2時間30分、鉄道だと上越新幹線を利用して約3時間で来ることができます。仕事や旅行で首都圏へ来るときの宿泊先として、また大学進学や就職などのときの居住先として、ぜひお越しください。

和光市企画部秘書広報課
左：上原 弘之 統括主査
右：白田 祥子 主事

わこうに広がる、とおかまちの産品・魅力

「Towako（とわこ）」の取組み

和光市にあるTowakoは、クロステン（一般財団法人十日町地域地場産業振興センター）の首都圏営業所として、平成28年7月23日にオープンしました。Towakoという愛称は、「とおかまち」「わこう」のそれぞれ頭文字と、両市の友好交流が永久（とわ）に続くよう願いが込められたものです。オープンから1年が過ぎ、現在の状況などについて関係者から話を聞きました。

クロステン専務理事
岩船 眞人 さん

とおかまちの産品を首都圏に紹介したい

Towakoオープンのきっかけは、平成25年から進める地域商社化事業です。とおかまちにはおいしいもの・良いものがたくさんありますが、生産者の人はそれを営業・販売する術がありませんでした。また、お客さん側もいろいろなところから購入するのは面倒であるという実態であり、そこで私たちがとおかまちの産品をまとめて、首都圏へ紹介・販売するためにこの事業を始めました。

事業を進めるうち、首都圏に営業所を設けたらどうかということになりました。このことを十日町市に相談すると、営業所を置くなら友好交流都市の和光市が良いということになりました。災害時相互応援協定も結んでいるため、災害発生時は食糧提供などの支援拠点として機能させる構想です。

本当においしいお米を食べてもらうため

ただ、単純に営業所を置くだけで販売実績は上がりません。加えて品質・サービスといった面で競合他社との差別化を図る必要がありました。そんなとき、和光市の学校給食に十日町産魚沼コシヒカリを使用していただけることになりました。和光市の子どもたちに本当においしいお米を食べてもらうには、現地で精米した新鮮なお米が良い。これは一般の消費者にもPRできると考え、営業所に精米機を置くことにしました。

Towakoに導入された精米機

「とおかまちファン」を増やしていく

オープンして1年が過ぎましたが、おかげさまで業績は順調に伸びています。今後、さらなる進展のためには、和光市に溶け込むことが必要です。そのため、和光市商工会に加入したり、市内のイベントなどにも積極的に出展したりし、Towakoの知名度向上を図っています。また、社員を増やし二人での営業体制とすべく、募集を行っています。こうした基盤強化を行いながら、妻有ポーク・野菜・そばなど多品目の販促、移住定住や観光の情報発信を行い、とおかまちファンを増やしたいと考えています。

とおかまちの産品がおいしいのは、生産者の皆さんの努力と雪にあると思います。雪がもたらす清らかな水と豊かな大地で、農作物がおいしく育つのではないでしょうか。和光市の皆さんには営業するときに、「だから、ぜひ冬の十日町市へ来てください」と伝えています。

生産者の気概を知りこだわりを持って提供

Towako
営業 安西 克年 さん

現在は、十日町産魚沼コシヒカリの都内飲食店への卸しと、和光市とその近隣の一般家庭への販売が主な仕事です。注文を受けてから精米して配達するというこだわりを持って、提供をしています。おかげさまでお客さまからは好評をいただいています。

十日町市の農家さんの良いものを作るという気概を知り、感銘を受けました。これからは新米の出荷シーズンとなるので、十日町産魚沼コシヒカリの販売を進めたいです。

Towako
一般財団法人十日町地域地場産業振興センター
首都圏営業所
〒351-0113 埼玉県和光市中央2-3-8
グレースパレス104号 ☎048-458-3712

スポーツで深める交流

～少年サッカー～

交流を通した経験や出会いを大切にしてほしい

平成16年8月に和光市と防災協定を結んだとき、和光市はサッカーが盛んでしたので、少年サッカーでの交流も始めました。現在は毎年3月と7月に両市を行き来して、親善試合が行われています。この交流は、サッカーの試合をして終了ではありません。試合後に夕食をともにしながら交流会も行われ、おしゃべりをしたり遊んだりして、子どもたちは友情をはぐくんでいます。

成長していく子どもたちを見ると、このような経験や出会いを大切にしてほしいです。その一つが、このサッカー交流であってくれれば、とてもうれしいです。

十日町市サッカー協会
理事長 若山 裕（ゆたか） さん

新たな交流

人材育成のため、両市は今年から職員の相互派遣研修を行っています。

新しい視点などを学ぶことができ、充実した毎日を過ごしています。

十日町市から和光市へ

和光市市民環境部
産業支援課
樋熊 剛毅 主任

和光市から十日町市へ

皆さんに温かく迎えてもらい、楽しく仕事をしています。

十日町市産業観光部
農林課農業企画係
高橋 優樹 主事

和光市役所にて

ネージュくん、わこうのまちはどうだった。とおかまちの人たちにわこうの良い所を教えてあげてね。これからも、お互い仲良くしようね。

Pick Up 魚沼圏域版新ナンバープレート導入実行委員会の設立

新ご当地ナンバー導入を検討しています

●●●●●問合せ：企画政策課企画政策係☎757-3193

全国的に自動車のナンバープレートに新たな地域名を表示した「ご当地ナンバー」の追加の要望があることから、国土交通省は地方版図柄入りナンバープレートと組み合わせた、新ナンバープレートの追加を行うこととしました。これを受け、地域住民にとってより身近な地域名のナンバーを導入することで、一層の地域・産業・観光の振興を図ることなどを目的に、近隣５市町（十日町市、魚沼市、南魚沼市、津南町、湯沢町）で「魚沼圏域版新ナンバープレート導入実行委員会」を設立し、「新ご当地ナンバー」の導入を目指すこととしました。

導入に向けた体制

●**魚沼圏域版新ナンバープレート導入実行委員会の設置**（関係市町の首長で構成。会長は林茂男南魚沼市長）
※平成29年８月24日設立

●**導入を推進するための推進協議会の設立**（関係団体などで構成）

導入の基準

●**地域名表示の単位**（いずれかの要件に該当）
①対象地域内の登録自動車数が10万台を超えていること
②対象地域内に複数の自治体が存在し、かつその地域の登録自動車数がおおむね５万台を超え、地域名表示が当該地域を称するものとして相当程度の知名度（観光著名地など）を有すること【**新たに追加された基準**】
※平成29年３月末における関係５市町の登録自動車数合計は、約６万６千台

●**地域名の基準**
①行政区画や旧国名などの地理的名称であり、当該地域を表すのにふさわしい名称であること
②読みやすく、覚えやすいものであり、既存の地域名と類似していないこと
③ナンバープレートに表示されたときに十分視認性が確保されるよう、原則として漢字２文字であること。やむを得ないときは、漢字または平仮名で４文字であること

図柄入りのナンバープレート

新ナンバープレートは、従来の無地のほか、図柄入りのナンバープレートも作成されます。図柄入りは寄付金の有無でフルカラーまたはモノトーンとなる予定です（無地・図柄入りフルカラー・図柄入りモノトーンの３種類）。
※既存の地域名（新潟・長岡）表示に図柄を入れたナンバープレートは、平成30年10月ころからの導入に向け、県が準備を進めています。

導入時期

平成32年度からの導入を目指します。
※対象区域内にあるすべての自動車（軽自動車など含む）について、新規・移転・変更登録などでナンバープレートを変更するとき、「長岡」から「新ご当地ナンバー」に変更されます。
また、希望により現在のナンバープレートも、新ナンバープレートに取り替えできます。

今後のスケジュール

平成29年	平成30年
●**10月末** 関係自治体が県へ新ご当地ナンバー導入を要望 ●**12月初旬** 県が国へ導入意向の表明	●**3月末** 県が国へ正式導入申込み ●**12月末** 図柄デザインの提案

Pick Up 認知症に関する講演会・イベントのお知らせ

認知症に優しい地域づくりをめざして

●●●●●問合せ：医療介護課医療・おとしより支援係☎757-9758

認知症の人は２０２５年には７００万人（65歳以上の高齢者の約５人に１人）に達すると推計され、私たちにとって身近な病気となっています。認知症の人、その人たちを支える家族などが、どのような思いで生活しているのかを知り、私たちに何ができるのか、一緒に考えてみませんか。

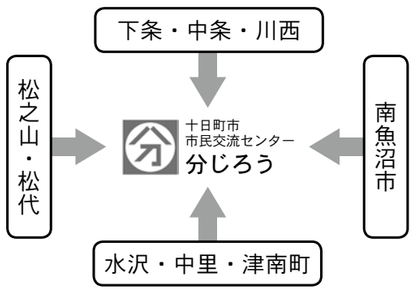
認知症講演会
～当事者の話に耳を傾けよう～

日 ９月23日(土)午後１時30分～４時
※受付午後１時～
会 情報館
内 基調講演および講座
講 竹内裕さん（日本認知症ワーキンググループメンバー）・認知症キャラバンメイト
定 １００人
申 医療介護課医療・おとしより支援係（☎７５７―９７５８）

笑顔が弾ける

認知症の人と地域の人、みんなで作り上げるタスキリレー型まちづくりイベント
９月24日(日)はRUN伴（ラン ともに）2017を応援してください

200人以上のランナーが４つのルートをタスキをつなぎながら走る



●**ゴールイベント**＝午後３時30分ころ～
会 分じろう
内 蘭燃ミニライブ、下条中学校吹奏楽部の演奏などあり
問 RUN伴2017新潟実行委員会魚沼エリア代表・髙橋（☎080-5944-2944）

Facebookでも情報配信中⇒

RUN伴ってなに？

認知症の人と地域の人が一緒に行うタスキリレーです。認知症フレンドシップクラブおよびRUN伴2017新潟実行委員会が主催し、認知症になっても安心して暮らせる地域になることを目指しています。2011年に北海道で始まり、昨年は42都道府県で開催されました。十日町市では2015年から行われており、認知症の人、またその家族など、大勢のランナーがタスキをつないできました。

今年は十日町市に加え、津南町・南魚沼市から200人以上のランナーが参加予定で、４つのルートをタスキをつなぎながら走り、ゴールの『市民交流センター分じろう』を目指します。

テーマカラー「オレンジ」を身に着けて応援

みんなでタスキをつなぐ

9月は「食生活改善普及運動月間」

食事をおいしく、バランスよく　～健康寿命を伸ばそう～

●問合せ：健康づくり推進課母子保健係☎757-9759

食生活改善普及運動月間とは

9月の「健康増進普及月間」と連携して、健康寿命を伸ばすために、「食事をおいしく、バランスよく」を基本テーマとして、「野菜摂取量の増加」、「食塩摂取量の減少」、「牛乳・乳製品の摂取量の増加」をすすめています。

市民の健康増進計画「第2次健康とおかまち21」より

●**栄養・食生活の重点目標**
主食・主菜・副菜をそろえたバランスのよい食事を、好き嫌いせずに食べます。

たんぱく質を上手にとろう

今回は、「主菜のとり方」について紹介します。主菜に多く含まれるたんぱく質は、筋肉・内臓・皮膚・爪・毛髪など、人の体のいろいろな部分を作るのに欠かせない栄養素です。たんぱく質の摂取は、多すぎても少なすぎても体に良くありません。

高齢期では低栄養になりやすく、筋肉量が減ってしまう恐れがあるため、たんぱく質不足に注意が必要です。20～30歳代では、たんぱく質・カルシウム摂取量が少ないことがわかっています。（平成27年国民健康・栄養調査より）

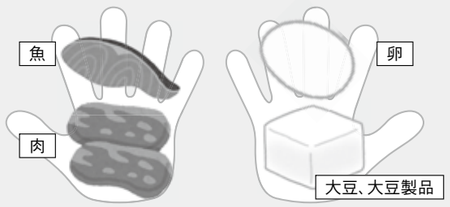
一方、たんぱく質のとりすぎは、脂質のとりすぎにもつながりやすく、肥満になる恐れがあります。また、肝臓や腎臓など、内臓への負担が大きくなります。

たんぱく質は、自分に合った適量をとることが大切です

たんぱく質の適量は？

～「自分の手のひら」で1日に食べる食材の目安量を決めよう～

左手に乗る大きさの魚と肉、右手に乗る大きさの豆腐（大豆製品）と卵が1日の目安量です。



この量を朝・昼・夜の3回に分けて食事に取り入れていきましょう。

【そのほかにも】
牛乳・乳製品を取り入れましょう

・ヨーグルト（無糖）なら200グラム程度
・牛乳なら約200ミリリットル程度

ヘルスメイトセミナー
受　講　者　募　集

健康づくりを地域に広める活動をしている、食生活改善推進員（愛称：ヘルスメイト）を養成するためのセミナーを開催します。生活習慣病予防やバランスのとれた食事など、健康づくりに必要な知識を学べます。ぜひ受講してください。

募集内容

日 9月29日㈮～11月7日㈫の5日間（下記日程参照）
対 概ね63歳未満で、以下のことができる人
・全5日間のセミナーに4日以上出席する
・セミナー終了後、食生活改善推進活動に参加する
定 20人
会 保健センター（市役所隣り）
¥ 2,500円（テキスト代・調理実習材料費）
〆 9月21日㈭
申 健康づくり推進課母子保健係（☎757-9759）

●セミナーの日程

日　時	内　容
9月29日㈮ 午前10時～午後2時30分	・健康づくりの基本、国の現状 ・市の健康状況、健康づくりのすすめ
10月7日㈯ 午前9時30分～午後3時	・消化と吸収、からだのしくみ　・生活習慣病を防ぐには ・調理実習（計量のしかた）
10月20日㈮ 午前9時30分～午後3時30分	・食中毒、食品表示について　・年代別の食育（子どもから高齢者まで） ・運動の効用　・正しい口腔ケア
10月28日㈯ 午前9時30分～午後3時30分	・栄養計算、献立の考え方　・調理実習（高血圧予防の食事） ・バランスのとれた献立を考えてみよう
11月7日㈫ 午前10時～午後3時	・調理実習（バランスのとれたオリジナル弁当） ・食生活改善推進員との懇談会

※講師の都合などにより、日時・内容が変更になるときがあります

ヘルスメイト（食推さん）活躍の場

家族・お隣さん・地域住民へと、健康づくりの輪を広げています。

さまざまな場面で大活躍！
地域の健康づくりの案内役、
ヘルスメイトになりませんか？

住民健診食生活コーナー

地区伝達講習会

おやこ食育教室

若者×若者 キラ×キラワーカーズ

十日町市の仕事人

～語る　仕事・会社・十日町市への思い～

太田　舞花（まいか）さん（川原町・24歳）

長野県白馬村出身。高校卒業後に白馬村を離れ、大学で和裁・洋裁を学ぶ。卒業とともに就職し、今に至る。現在３年目。

■問合せ
産業政策課
☎757-3139

田中　智里（ちさと）さん（仁田・20歳）

市内出身。市内の高校を卒業後、興味のあった和裁の道に進むことを決意し、就職。現在３年目。

きもののまちで働くことを決めた

太田さん―大学で学んだ和裁・洋裁の技術を生かせる仕事を探していたとき、当社に出会い、十日町市に移り住むことを決めました。このまちの暮らしにも慣れ、楽しみながら仕事をしています。

田中さん―高校生のときは、市外に出ることも考えました。ですが、ここに住む人たちの人柄や、四季の自然が大好きで、住み慣れた地元から離れることはできませんでした。

周りの支えと経験で成長できた

太田さん―大学で裁縫を学んできましたが、仕事は正確さとスピードを求められるので、就職当時は目の前の仕事をこなすのに精一杯でした。ですが、今は周りが見えるようになり、複数の仕事も対応できるようになりました。

田中さん―就職当時は分からないことばかりでしたが、ここは社員の皆さんがどんなことでも一から丁寧に教えてくれる、雰囲気の良い会社です。今は任せてもらえる仕事も幅が広がりました。やりがいを感じながら、日々仕事をしています。

誰からも信頼される人材になりたい

田中さん―上司や後輩から信頼され、仕事を任せてもらえる社員になりたいです。さらに経験を積むとともに、コミュニケーション能力も高めたいです。

太田さん―私は社内の「なんでも屋さん」になりたいです。ほかの部署から仕事が回ってくることもあるので、誰からでも仕事を任せてもらえる社員を目指します。

協力企業

■株式会社 ハピネス

- レンタル衣裳の総合加工・物流
- 従業員98人
- 十日町市明石町16
- ☎752-5181
- 人生の節目における七五三・成人式・卒業式・ブライダル衣裳のメンテナンスから配送まで、全国展開しています

９月は「新潟県自殺対策推進月間」

『たった一人のあなたです　たった一つの命です』

問合せ：健康づくり推進課☎757-9764

十日町市の自殺率は新潟県や全国平均よりも高い状態が続いています。県は９月を「自殺対策推進月間」とし、市でもさまざまな取組みを実施します。

命はたった一つのかけがえのないものです。失ったら二度と戻りません。大切ないのちを守るため、自分自身や周りの人がこころのサインに気づき、適切な対応をすることが大切です。

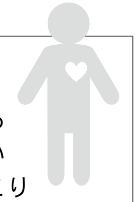
うつ病はいのちの危険信号

「うつ病」は一生のうちに10人に１人がかかると言われ、誰もがなることがある病気です。自殺と関連が深く、自殺者の約９割にこころの病気があったと言われています。放置することは危険です。早期に発見し、適切な治療を受けてください。

うつ病のサイン

サインとして次のような症状があげられます。このうちのいくつかが２週間以上ずっと続くと、うつ病の可能性が高くなります。

こころの変化
- 抑うつ気分（憂うつ、気分が重い）
- 何をしても楽しくない、何にも興味がわかない
- イライラして、何かにせき立てられているようで落ち着かない
- 悪いことをしたように感じて自分を責める、自分には価値がないと感じる
- 思考力が落ちる
- 死にたくなる　　など



身体の変化
- 食欲がない
- 食べ過ぎる
- 体がだるい
- 疲れやすい
- 性欲がない
- 頭痛や肩こり
- 動悸
- 胃の不快感
- 便秘
- めまい
- 口が渇く　　など

周りからみてわかる変化
- 表情が暗い
- 涙もろくなった
- 反応が遅い
- 落ち着かない
- 飲酒量が増える　　など

「いつもと違う」こんな変化に気づいたら、もしかすると本人はうつ状態で苦しんでいるのかもしれません。そんなときは、まずは心配していることを伝えてください。そして、話を聴いてください。

「あてはまるかな？」と思ったらまずは専門家（総合病院の精神科や心療内科、もしくは精神科専門のクリニックなど）に相談しましょう。市や保健所の相談窓口なども利用してください。

こころの健康に関する相談先

ひとりで悩まないで。

電話相談窓口

■新潟県こころの相談ダイヤルで毎日24時間相談を受け付けます

0570（ナビダイヤル）－783（なやみ）－025（なしにいがた）

■市の保健師や保健所の精神保健相談員が相談に応じます

健康づくり推進課、各支所市民課、十日町保健所（☎757-2402）へお問い合わせください。

無料相談会

■精神科医及び臨床心理士によるこころの相談会を行っています

毎月１回、予約制で相談会を開催しています。相談は無料で、秘密は守られます。健康づくり推進課、または十日町保健所へお問い合わせください。

川治小学校自転車部　全国大会で奮闘

８月９日㈬：東京ビッグサイト（東京都江東区）

６月に開催された交通安全子ども自転車大会新潟県大会で、団体９連覇を成し遂げた川治小学校自転車部。県代表で全国大会に出場し、４人のメンバーが大舞台で奮闘しました。結果は39位で過去最高成績におよびませんでしたが、部長の山田李緒さん（６年）は「練習してきた成果が出せました。指導してくださった、交通安全協会の村山監督や市交通指導員の皆さんに感謝を伝えたいです」と話してくれました。

◀出場した４人のメンバー
左から野村颯希（さつき）さん（５年）、山田李緒さん、小林彩乃さん（５年）、大津葵来（きら）さん（６年）

自慢の芸と技術でにぎやかに祝う

８月11日（山の日）・12日㈯：まつだいふるさと会館

ほくほく線（北越急行㈱）の開業20周年を祝い、「ほくほくフェスティバル2017」がまつだい駅周辺で開催されました。常春ホールでは12組の団体がバンド演奏や能楽などで出演し、集まった観客を楽しませました。口だけで音楽を奏でる“ヒューマンビートボックス”を披露したNaoya Z（ナオヤゼット）さんは、「記念のイベントに出演することができ、とても光栄です」と話してくれました。

勇気ある行動に感謝　火災の拡大を防ぐ

８月22日㈫：消防本部

勇気ある行動で建物火災の拡大を防いだ、新潟トヨタ自動車㈱十日町店（高田町６）の斉藤清さんと武藤明彦さんに、十日町地域消防本部から感謝状が贈呈されました。２人は８月６日の夜、同店付近の建物から煙が漂うなどの異常を感じていち早く火災を発見し、適切な119番通報や消火を行いました。

根津正一消防長からは感謝状とともに、「お二人の冷静かつ迅速な行動で、被害を最小限に食い止めることができました。本当にありがとうございました」と、感謝の言葉が贈られました。

写真中：斉藤さん　写真左：武藤さん

私たちの思いや気持ちを聞いてください

８月８日㈫：市民会館

市内および津南町の中学校生徒による、「わたしの主張 十日町・中魚沼地区大会」が開催されました。これは、生徒が日ごろの生活の中で思うこと、考えたことなどを発表する弁論大会です。各校を代表して参加した12人の生徒たちから、それぞれの主張が発表されました。

審査の結果、県立津南中等教育学校３年の増田美海（みみ）さん（松之山小卒）の「表現するということ」が最優秀賞に選ばれました。増田さんは地区代表として、９月18日（敬老の日）に開催される県大会へ出場します。

川で涼み、山で楽しむ　中里で夏を満喫

８月14日㈪・15日㈫：中里地域

お盆期間の中里地域で、毎年恒例の夏イベントが開催されました。

14日には、清津川フレッシュパークで日中に「清津川さかなまつり」、夕方からは「清津川・川っぺり音楽祭」と、２つのイベントが開催。訪れた人たちは、清津川からのさわやかな風に吹かれながら、魚のつかみ取りや、出演バンドの生演奏などを楽しみました。翌15日には、清田山キャンプ場まつりが開催されました。雪中宝探しほか、大人も子どもも楽しめる盛りだくさんの内容の中、会場は家族連れを中心に多くの人でにぎわいました。

この２日間のイベントには延べ1,700人が来場。それぞれ川で涼み、山で楽しみ、今年の夏を満喫した様子でした。

写真左：清津川さかなまつり、
写真右：清田山キャンプ場まつり

早稲田大学生に学ぶ

８月８日㈫～18日㈮：松苧ドーミトリィ

早稲田大学との交流を行っている松代地域において、「まつだい早稲田じょんのびクラブ」というサークルの学生たちによる塾が開講されました。「ラッタッタ」と銘打たれたこの企画には、小学生から高校生が参加。最終日には松代地域の将来についてグループ討論を行い、さまざまな意見が飛び交いました。

地元彫刻家から学ぶ　粘土作品づくり

８月３日㈭：総合体育館駐車場

西部地区振興会（尾身晴夫会長）では、創立30周年記念事業で区域内の道路に10体の彫刻作品を設置する予定です。今回、その一環で地域の子どもたちを対象に、粘土作品の制作体験教室を開催しました。藤巻秀正さんをはじめとした地元彫刻家の皆さんを講師に迎え、子どもたちは青空の下、屋外で粘土による造形に親しみました。

参加した岡村結絆（ゆいき）（８歳・島）さんは、「アニメのキャラクターを作りました。上手にできたので、家に飾りたいです」とうれしそうに話してくれました。

移住後の悩みや十日町の魅力を語り合う「移住者の会」

８月６日㈰：ALE（エール） beer（ビア） & pizza（アンド ピッツア）（宮下町西）

市では移住してきた人たち同士がつながる場として、「移住者の会」を初めて開催しました。Ｕターン就農者・NPO職員・ゲストハウスの開業準備を進める起業家など、30歳から60歳代までの移住者11人が参加しました。

自らの移住体験談を紹介し、お互いに親近感を覚えると、「はじめは方言がわからず、ムラの人が何を言っているのか分からなかった」など、ご当地ならではの話題で盛り上がりました。

GUIDE ～ お知らせ・ガイド ～

催し・講座

雪文化3館提携25周年記念特別展「雪と生活」

市博物館・トミオカホワイト美術館・鈴木牧之記念館の姉妹館提携25周年を記念して、ロビー展を開催します。

日 9月14日(木)～11月20日(月)
会・問 博物館（☎757―5531）

十日町市愛石会 第10回 特別記念水石展

日 9月16日(土)・17日(日)午前9時～午後5時※17日は4時まで
会 クロステン
他 女性・子どもには石と砂のプレゼントあり
問 大海（☎757―3866）

市内中学校&十日町ジュニアウインドアンサンブル 合同コンサート

日 9月17日(日)午後2時～3時30分※予定
会 市民会館
●出演＝市内中学校（川西・十日町・中里・松代・吉田）吹奏楽部・十日町ジュニアウインドアンサンブル
●演奏曲＝宝島・鷲が舞うところ・ロンドンデリーの歌・坂本九コレクションほか
問 中町（☎090―4003―8872）

JR東日本千手発電所を一般公開します

普段は見ることのできない施設を見学し、水力発電所の仕組みなどが学べます。

日 9月23日（秋分の日）午前10時～午後3時※雨天決行、荒天中止
会 JR東日本千手発電所
内 発電所見学・ミニ新幹線乗車・模擬店など各種イベント
問 JR東日本信濃川発電所（☎0258―82―2702）

2017年度秋募集 JICAボランティア「体験談&説明会」

開発途上国で活動する、JICAボランティアの制度や内容についての説明、経験者の体験談を聞くことができます。ボランティアには技術系・医療系・教育系・農業系・スポーツ系などさまざまな職種があります。予約不要・参加無料・入退場自由なので、ぜひ気軽に参加してください。

日 9月24日(日)午後2時～4時
会 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」講義室A
他 10月にも県内3会場で開催します。詳しくは問い合わせてください
問 JICA青年海外協力隊事務局 募集・選考課（☎03―5226―9813）

第9回 山内写真館資料写真展「昭和の十日町 ―雪と生きる人々―」

雪国十日町の街並みや雪まつりなど、雪とともに生きた人々の暮らしを写し出した80点の写真を展示します。

日 9月26日(火)～10月9日（体育の日）午前9時～午後7時
会 情報館
問 文化財課（☎757―5531）

フォルトネットからのお知らせ

【不登校・ひきこもりさんの家族会】

日 9月28日(木)午後7時～
会 分じろう

【お茶にしようじゃねぇ会】

日 10月7日(土)午後2時～
会 分じろう
講 300円
内 不登校をステキな経験に～不登校の会25年の歩みから～
講 西伸之さん（アーベルの会）

【ひきこもりさんのオープン

秋季消防演習のお知らせ

地区名（分団名）		日　時	会　場
十日町方面隊	《十日町・川治・六箇地区》本部分団、第1・2・3・4・8分団	10月22日(日)午後1時	つまりっこ広場
	《中条地区》第5・6・7分団	10月8日(日)午後1時	飛渡運動広場
	《吉田地区》第9・10分団	10月8日(日)午後1時	吉田中学校駐車場
	《下条地区》第11分団	10月15日(日)午後1時	下条小中学校グラウンド
川西方面隊		10月15日(日)午後0時30分	上野小学校グラウンド

問 十日町地域消防本部（☎757-0119）

松之山で“冷ゃっこい夏”を楽しむ

8月14日(月)：大厳寺高原

お盆の一大イベントとして定着した「真夏の雪まつり」が、今年も大厳寺高原で開催されました。保存していた雪で造った巨大ステージでは、はだしで行う雪上綱引き大会やお菓子取り競争などの各種ゲームが行われ、参加者は“冷ゃっこい（冷たい）夏”を楽しんでいました。また、ステージ裏に作られた雪上コースは、そり滑りやスノーバイクなどの体験試乗でにぎわいました。

時折小雨の降る天候でしたが、2,000人の来場者は涼しい夏の一日を満喫しました。

33年に一度の大祭

8月25日(金)～27日(日)：太子堂集落

中条地区の太子堂集落のお太子様（お堂）で行われるお祭りは、全国でも数少ない聖徳太子をまつる祭事です。さらに、今年は33年に一度の大祭にあたり、境内には角塔婆（かくとうば）が立てられ、集落の人たちはご利益があると言われるこの角柱に触れるとともに、開帳された本尊をお参りしました。

Serialization corner 連載コーナー

地元サポーター・こへび隊 活動日誌

地元から芸術祭を盛り上げよう!!

JISAPO　Facebookあります　こへび隊

地元サポーター こへび隊通信 ⑯

きょうのサポーター

こへび隊

小室 さゆみさん（八王子市・28歳）

大地の芸術祭に出会って11年

2017年前半　会場：越後妻有全域

高校生のとき、地元水戸芸術館のショップで大地の芸術祭2006の存在を知りました。当時、地域活性化を目的とした大地の芸術祭は新しい取組みで、パスポートやガイドブックを購入して行き方を調べたり、宿を探して予約したりと、旅の計画を立てることも楽しみの一つでした。

その芸術祭に関わりたいと思い、2015年からこへび隊として活動しています。その魅力は何と言っても、「共通の友人ができること」「妻有に知り合いができること」「継続して芸術祭に深く関われること」の3点です。メンバーは多様で、美術・経済・ITなど得技があり、それらを生かして活動しています。

社会人になった私にとって、こへび隊としての越後妻有での活動は、職場以外の人と出会い、交流し、人生の視野を広げる大切なものとなっています。

■問合せ＝観光交流課芸術祭企画係　☎757-2637

地元のお母さん手作りの食事は美味しく、ついたくさん食べてしまいます。

莇平の明後日新聞社からの眺め。夏の妻有を感じられる景色です。

雪見御膳のお手伝いのときに見た、小正月の飾り。同じ日本でも知らない文化に触れることができ、とても勉強になります。

スペース】
日 毎週㈫・㈭午後1時～4時
会 ねころんだ（昭和町1）
〈共通〉
問 フォルトネット・関口（☎090―4955―4169）

第6回 古民家で野の花展

日 9月30日㈯・10月1日㈰午前10時～午後4時
会 奴奈川姫の家（松代室野診療所隣）
他 抹茶のふるまいあり
問 野の花を活ける会・岩田（☎090―5255―9699）

第9回 市場まつり（職人ごったく）

日 10月1日㈰午前10時～午後3時
会 十日町卸売市場
内 サンマのつかみ取り、マグロの解体・実演販売、野菜・果物の模擬競売、食の屋台など多数出店
他 詳細は9月28日の新聞折り込みチラシをご覧ください
問 市場まつり実行委員会・五十嵐（☎757―1185）

ナカゴでハロウィンフェス

日 10月1日㈰午前11時～午後5時
会 ナカゴグリーンパーク
内 ハンドメイドショップ・飲食ブースの出店、アーティストによる生演奏、ドローンによる空撮
他 仮装してきた子どもを対象に、午後3時からビンゴ大会開催
問 ハロウィンフェス実行委員会・春日（☎090―4939―7967）

第53回十日町市・中魚沼郡児童生徒科学研究発表会

【中学生】
日 10月2日㈪午前10時～正午
【小学生】
日 10月3日㈫午後1時30分～4時30分
会 情報館
問 理科教育センター（☎752―4632）

犬・猫の飼い方教室

【犬の飼い方・しつけ方教室】
日 10月8日㈰・12月17日㈰午前9時30分～11時30分
【猫の飼い方・お悩み相談】
日 9月30日㈯午後1時30分～3時30分・11月26日㈰午前9時30分～11時30分
定 それぞれ先着40人
他 実技講義ではないので犬・猫は連れてこないでください
会・申・問 県動物愛護センター（長岡市・☎0258―21―5501）

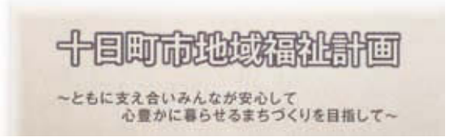
にいがた医療・福祉スポーツセミナー2017

日 9月25日㈪午後1時40分～3時10分
会 新潟ユニゾンプラザ（新潟市）
定 先着50人※新潟県民に限る
内 輝く瞳で活き生き生活
講 前田史篤さん（新潟医療福祉大学視機能科学科教授）
申・問 電話またはＦＡＸで、にいがた医療・福祉・スポーツセミナー2017開催事務局へ（新潟医療福祉大学社会福祉学科合同研究室内☎・F025―257―4508）

市地域福祉計画策定委員会 委員募集

市では本年度、市地域福祉計画の見直しを行います。見直しにあたり、市民の意見を反映できるよう、委員の一部を公募します。

定 3人以内
内 市地域福祉計画の審議
●**応募資格**＝市内に引き続き3か月以上在住する20歳以上の人で、地域福祉の推進に関心があり、年3回程度の会議に出席できる人
※当市の審議会などの委員を2つ以上兼務している人を除く。また、会議は原則平日昼間を予定
●**選考方法**＝選考は書類で審査し、結果は応募期限後1週間以内に応募者全員に文書で通知します
●**委嘱期間**＝委嘱日から平成30年3月31日まで
●**委員謝礼**＝委員会1回につき5500円
〆 9月22日㈮
申・問 ①氏名②性別③生年月日④郵便番号・住所⑤電話番号⑥職業・勤務先⑦応募の動機を福祉課または各支所市民課に配置の所定の用紙（市ホームページからも入手可）または電子メール（t-fukushi@city.tokamachi.lg.jp）に明記して福祉課へ（☎757-9739）



平成29年度 県民介護知識・技術習得講座 総合習得コース

介護に関する講義・実技あわせて30時間の講座を、6日間のコースで実施します。
日 10月4日㈬・11日㈬・12日㈭・16日㈪・20日㈮・26日㈭午前10時～午後4時
会 新潟ユニゾンプラザ（新潟市）
定 先着30人※新潟県民に限る
他 11月には「ステップアップコース」（15時間・3日間実技のみのコース）を開催します。詳しくは問い合わせてください。
申・問 県社会福祉協議会 福祉人材課 介護実習・普及センター（☎025―281―5525）

募集

受講生募集 メンタルヘルス対策セミナー

日 10月5日㈭午前9時30分～午後4時30分
会 十日町地域振興局（妻有町西2―1）
対 企業や団体などの管理監督者（部下のいる人）・職場のメンタルヘルス対策に関心のある人
¥ 2400円
定 20人
講 大﨑華子さん（ＨＡＮＡメンタルマネジメント代表）
〆 9月22日㈮
申・問 県立魚沼テクノスクール（☎025―794―2410）

赤い羽根共同募金による福祉活動費の助成の募集

民間団体の地域福祉活動を推進することを目的に、赤い羽根共同募金の公募型助成を行います。
●**対象事業**＝福祉・社会教育・地域防災・防犯・青少年育成・ボランティア活動を行う事業
●**対象団体**＝市内で活動する左記の団体
①民間の非営利団体（ボランティアグループ含む）
②自治会・町内会
●**事業期間**＝平成30年4月1日～平成31年3月31日まで
●**助成内容**＝上限10万円、総額100万円を予定
●**募集期間**＝9月20日㈬～11月17日㈮
※受付は期間日の平日午前8時30分～午後5時15分
申・問 市共同募金委員会（社会福祉協議会内☎750―5010）

とおかまち随筆クラブ 第5回エッセイコンテスト作品募集

とおかまち随筆クラブが審査し、読書週間（10月27日～11月9日）に寄せられた作品と審査結果を情報館で発表します。
●**テーマ**＝友達（事実に基づき、自身が体験したことやそこから感じたこと）
●**提出様式**＝400字詰め原稿用紙2～3枚。1行目は作品名、2行目は作者名を明記し、本文は4行目から記入※パソコンなどでの作成も同様
対 市内・津南町に在住または在学・在勤の人
〆 10月6日㈮必着
申 作品と、氏名・フリガナ・生年月日・性別・住所・連絡先電話番号を明記した紙を同封し、持参または郵送で〒948―0072西本町2―1―1情報館※封筒に「エッセイコンテスト作品在中」と明記すること
問 とおかまち随筆クラブ・小川（☎090―1604―1045）

上越テクノスクール 在職者訓練（技能向上コース）受講生募集

【エクセル関数コース柏崎】
日 10月10日㈫・17日㈫・24日㈫・31日㈫午後6時～8時30分
会 ㈱カシックス（柏崎市）
対 基本的なパソコン操作ができる人
¥ 2400円※別途テキスト代
内 エクセルを使った計算・集計、表作成、ビジネス書類作成、データ分析などの便利テクニックを習得
〆 9月26日㈫
【3Ｄデータの作成と活用（Fusion360）】
日 10月11日㈬・13日㈮・18日㈬・20日㈮午後6時30分～9時
会 県立上越テクノスクール（上越市）
対 3Ｄデータの作成と業務活用に興味がある人
¥ 3900円
内 3Ｄデータを3次元ＣＡＤ（AutodeskFusion360）を使って作成し、3Ｄプリンターにて造形する基礎を体験します
〆 9月27日㈬
【ＪＷ―ＣＡＤ応用コース②】
日 10月21日㈯・28日㈯午前9時～午後4時
会 県立上越テクノスクール（上越市）
対 ＪＷ―ＣＡＤの基本的な知識がある人
¥ 2400円
内 図面・図形の色付け、写真の挿入、特殊文字などの入力、2・5Ｄの特徴を学びます
〆 10月6日㈮
〈共通〉
定 10人※多数のときは抽選
申・問 県立上越テクノスクール（上越市・☎025―545―2190）

第九管区海上保安本部 安全メッセージ募集

敬老の日を契機として、次のとおり募集しています。

●**応募条件**＝
・中学生以下から漁船に乗っている祖父母世代の人に向けたメッセージであること（知り合いでも可）
・「安全」・「無事故」・「元気」・「約束」・「ライフジャケット」のキーワードを必ず1語以上使用すること

〆9月20日(水)※消印有効
申・問封書・ＦＡＸ・電子メール（jcg9anzentaisaku2-8y4c@mlit.go.jp）のいずれかで、①氏名②年齢③性別④学年⑤郵便番号⑥住所⑦電話番号⑧安全メッセージ（川柳・標語など形式を問わず100文字以内）を第九管区海上保安本部交通部安全対策課へ（☎025―258―0118、F025―288―2601）

農業収穫祭イベント「東京ハーヴェスト2017」出店公募

日11月11日(土)・12日(日)午前11時～午後7時※予定
会六本木ヒルズ（東京都港区）
対市内に住所を有する認定農業者または認定農業者が含まれる団体
〆9月22日(金)※必着
申・問農林課農業企画係（☎757―3120）
※申込書・公募要領は市役所のほか、市ホームページからダウンロードできます

福祉・健康

赤十字救急法基礎講習会

【日中講習コース】
日10月1日(日)午後1時～5時
会市川西福祉センターはあとふる川西
定20人
〆9月22日(金)

【夜間講習コース】
日10月4日(水)・18日(水)午後7時～9時※計4時間
会市民交流センター分じろう
定3人以上
〆開講日の1週間前

〈共通〉
¥1500円※教科書代・保険料
内心肺蘇生法、ＡＥＤでの除細動・気道異物除去など
【救急員養成講習会】
日10月7日(土)～9日(月)午前9時～午後5時
会市民交流センター分じろう
¥3200円※教科書代・保険料
定20人
内心肺蘇生法、ＡＥＤでの除細動、急病・けがの手当、搬送・救護
〆9月27日(水)

〈共通〉
対15歳以上
申・問日赤十日町市地区事務局（社会福祉協議会内☎750―5010）

「にいがた医療情報ネット」を活用してください

診療科目や診療時間などから、医療機関を検索できるウエブサイトです。近くの病院・診療所を探したいとき、また症状からどの診療科へかかったらよいか迷ったときなどに、ぜひ活用してください。
●ＵＲＬ＝http://qq.niigata-iyaku.jp/
問県医務薬事課（☎025―280―5184）

子育て

ハローパパママ学級

健やかな赤ちゃんを産み、育てていくための教室です。パパもぜひ参加してください。
日10月10日(火)・21日(土)午後1時15分～3時30分
会十日町保健センター（市役所隣）
対12月～平成30年4月出産予定の妊婦とその家族
内10日は歯科健診とブラッシング指導を行います。21日は抱っこやおむつ交換・沐浴の練習や、妊婦体験ができます。
〆10月2日(月)
申・問健康づくり推進課母子保健係（☎757―9759）

子ども博物館「火焔型土器の土版と埴輪（はにわ）づくり」

家庭用オーブンで焼ける粘土を使って、火焔型土器の土版と埴輪を作ります。
日10月7日(土)午後1時30分～3時30分
会小学4～6年生※保護者の参加可
¥500円※材料費
定先着10人
持汚れてもよい服装
〆9月23日(土)
会・申・問申込書（対象者には学校で配布済み）に参加費を添えて博物館へ（☎757―5531）

親子ふれあいコンサート

歌のおねえさんとピエロがくるるにきます。ピエロのパルーンショーは、何ができるかお楽しみに。
日11月8日(水)午前10時30分～11時30分※開場10時
定先着親子60組
〆10月30日(月)
他当日は一般の利用はできません
会・申・問子育て支援センターくるる（☎757―1008）

がん征圧月間　特別企画
がん治療と就労　両立支援を考える

日9月28日(木)午後2時～4時
会クロステン
内／講
両立支援について／寺嶋茂さん（十日町労働基準監督署署長）、がん検診の重要性について／高津容子さん（市健康づくり推進課課長）、がんサバイバー（経験者）として両立支援の大切さを伝える／渡辺力さん（産業保健相談員・社会保険労務士）
問十日町中魚沼郡医師会・事務局（☎752-3606）

スポーツ

体力づくり支援センター

【秋の入会キャンペーン（全コース対応）】
日9月16日(土)～10月28日(土)
内期間中に登録した人に、当施設で利用できる用品券3千円分をプレゼントします

【プール特別一般開放】
9月18日（敬老の日）は、温水プールを通常料金の半額で利用できます。
●**時間**＝午前10時～午後5時
¥210円、中・高校生155円、3歳～小学生100円、3歳未満無料

〈共通〉
他各内容やバス利用については問い合わせてください
問十日町体力づくり支援センター（☎758―3343）

新潟アルビレックスBB ふれあいバスケットボール教室

一緒にバスケットボールを楽しみませんか。
日9月22日(金)・29日(金)
※年中～小学生は午後5時45分～6時45分、中学生は午後6時50分～7時50分
会市総合体育館
対年中～中学3年生
定年中～小学生10人・中学生10人
〆体験日前日
申・問電話またはメール（info@albirex.com）で氏名・学年・連絡先を㈱新潟プロバスケットボールへ（☎025―86―5700）

参加者募集 障がい者スポーツ体験

「共生社会づくり」を目指して一緒に汗を流しましょう。
日9月24日(日)午前9時30分～
会市総合体育館
内ボッチャ・フライングディスク・卓球バレー
問ＮＰＯ法人ネージュスポーツクラブ（☎752―4377）

小松原湿原トレッキング

ベニサラサドウダンツツジの紅葉や、ブナの原生林を楽しみませんか。自然観察指導員が同行します。
日10月1日(日)午前7時10分～午後4時20分※予定
会小松原湿原※市役所中里支所前集合・解散
対6時間30分程度のトレッキングができる人
¥6千円※ガイド料・送迎バス代・保険料・中里共通入浴券含む
定27人※最少催行人数13人
持飲み物・昼食・長靴または防水のトレッキングシューズ・帽子・防寒具・ゴミ袋・雨具など
他天候・現地状況により中止あり
〆9月22日(金)
申・問申込書を記入し、ＦＡＸや持参または観光協会ホームページより（一社）観光協会中里事務所へ（☎763―3168、F763―2044）

健康長寿のためのポールウォーキング教室

ポールウォーキングを始めてみませんか。
日10月2日(月)・16日(月)・30日(月)午前10時～11時30分※受付午前9時30分～
会市総合体育館
他ポールは貸出します
申・問ＮＰＯ法人ネージュスポーツクラブ（☎752―4377）

参加者募集 秋の市民ハイク

日10月1日(日)午前5時30分クロステン駐車場出発※雨天決行
¥6千円※交通費・保険料
定45人※定員になり次第締め切り
内平坦な尾瀬ヶ原散策コースと、百名山 至仏山山登りコースがあります
〆9月25日(月)
他9月26日(火)午後7時～市総合体育館で説明会を開催します。参加費を持参してください
申市総合体育館（☎752―4377）
問市山岳協会・水野（☎752―2481）

千歳ヶ丘トレッキングコース 第2回健康ウォーク

さわやかな秋の風を感じながら、気持ちの良い汗を流しませんか。

日10月1日(日)午前9時※受付午前8時30分～（小雨決行）
●**コース**＝往復約8キロメートル（総合公園～あじさい公園）
対小学生以下は保護者同伴
¥500円※保険料含む。申込時に支払い
持昼食・水筒・雨具・各自必要なもの
定100人
他記念品・豚汁サービスあり。小学生以下の参加は保護者同伴
〆9月25日(月)
申・問南地域自治振興会・竹内（川治公民館内☎761―7120）

第37回 妻有街道歩け歩け大会

妻有郷から三国峠越えの街道を歩いてみませんか。いも掘り・ざるそば・山賊汁を楽しめます。

日10月8日(日)午前8時30分※受付午前8時～（小雨決行）
●**コース**＝約18キロメートル：市役所前～六箇～栃窪峠※帰りはバス
¥1800円、中学生以下千円※当日徴収
持昼食（おにぎりなど）・水筒・雨具・各自必要なもの
定100人
他小学生以下の参加は保護者同伴
〆10月2日(月)
申市総合体育館（☎752―4377）、川治公民館（☎752―2223）、六箇分館（羽根川荘・☎752―5434）
問六箇体育協会・俵山（☎090―3757―3127）

第11回 秋のノルディックウォーキング2017 in 吉田

日10月8日(日)午前9時30分～※受付午前9時～
会吉田クロスカントリー競技場周辺コース
¥千円・中学生以下700円※当日参加は300円増し
内ゆったりコース（初心者向け）約5キロメートル、はりきりコース（経験者向け）約7～10キロメートル
持運動のできる服装・着替え・タオル・飲み物・ポール（1組300円で貸し出し可）
〆10月3日(火)
問吉田クロカンハウス（☎752―3103）

プロアドベンチャーレーサー 田中陽希講演会

日10月27日(金)午後7時～8時30分※開場6時
会市民会館
対小学生以上
¥1500円、中学生以下千円
●**演題**＝グレートトラバース3～アドベンチャーレース挑戦の軌跡と、日本3百名山全山ひと筆書き踏破へ向けて～
●**チケット販売日**＝9月20日(水)午前9時～※窓口販売のみ。1人5枚まで
●**販売場所**＝市総合体育館・中央公民館・中条公民館・下条公民館・千手中央コミ

わか者求人情報　発信支援事業補助金

就職ポータルサイトを利用した、求人情報発信事業補助金の募集を開始します。

●**補助対象事業・補助対象経費**＝就職ポータルサイト（2019新卒者用）を利用した求人情報発信事業（対象経費）就職ポータルサイト利用料
●**補助対象者**＝下表の業種のいずれかに該当する人

業　種	条　件
製造業	市内に事業所を有する企業
施設農業、運輸業、建設業、宿泊業、情報サービス業、学術・研究開発機関	市内に本社または主たる事業所を有する企業
社会保険・社会福祉・介護事業	市内に本社または主たる事業所を有し、かつ、製造部門を有している企業

※市税の滞納がないこと

●**補助金額**＝上限額20万円（補助率2分の1以内）
●**交付決定**（※）＝1月上旬（予定）
※申請件数・予算などの都合により、補助金の交付や、申請額の満額を交付できないときがあります
他合同就職説明会への出展事業、企業団体が行う求人に関する広報事業も補助を行っています（随時受付）
問産業政策課（☎757-3139）

ユニティセンター・なかさとアリーナ・松代公民館・松之山公民館
問市スポーツコミッション（市総合体育館内☎752―4377）

くらし・相談

10月は3Rキャンペーン月間

県は、10月を3Rキャンペーン月間としています。ごみ減量化を推進し、環境負担を軽減するため、消費者協会などの団体や中学生・高校生がスーパーや文化祭などで環境にやさしい取組を呼びかける活動を行います。マイバッグを持参する、環境にやさしい商品を購入するなど、普段から環境にやさしい生活をしましょう。
問環境にやさしい買い物運動実行委員会事務局（県消費者行政課企画係内☎025―280―5135）

10月1日(日)「法の日」司法書士無料相談週間

日10月1日(日)～7日(土)（各事務所執務時間内・休日相談希望のときは要事前確認）
会県内各司法書士事務所
内登記・訴訟・相続・成年後見・多重債務・悪徳商法などの
問新潟県司法書士会（☎025―244―5121）

障がい者雇用率制度の法定雇用率の引き上げ

平成30年4月1日から、左表のように変わります。

事業主区分	法定雇用率	
	現行	平成30年4月1日以降
民間企業	2.0%	2.2%
国・地方公共団体など	2.3%	2.5%
都道府県などの教育委員会	2.2%	2.4%

また、法定雇用率の変更に伴い、障がい者を雇用しなければならない民間企業の事業主の範囲が、従業員50人以上から45・5人以上に変わります。
問ハローワーク十日町（☎757―2407）

高齢者総合相談センター

高齢者やその家族が抱えるいろいろな心配ごと、悩みごとの相談に応じます。

【よろず相談】
日毎週(月)～(金)午前9時～午後5時※土日祝日、年末年始を除く
【法律相談】
日9月19日(火)・25日(月)午後1時30分～4時
【不動産鑑定・利活用の相談】
日応談
〈共通〉
申・問県高齢者相談センター（☎025―285―4165）

【お詫びと訂正】
市報8月25日号7ページお知らせ・ガイド「9月の休館日」において、情報館の休館日に誤りがありました。正しくは**9月25日(月)**です。
また、同じく7ページ「段十ろう開館記念コンサートチケット販売」において、タイトルに一部誤りがありました。正しくは**高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト**です。
お詫びして訂正します。

家庭用生ごみ処理容器購入補助金

ごみの減量化とリサイクル推進のため、補助金を交付しています。

対市内に住所を有する人
※川西地域の人は当事業ではなく川西有機センターを活用してください
●**補助対象**＝コンポスト容器・密閉式容器・電動式処理機・そのほか生ごみを堆肥化するもので市が認めるもの
●**補助金**＝購入価格1万円以下：2分の1補助で上限3千円、購入価格1万円以上：3分の1補助で上限3万円
※補助金額の100円未満は切り捨て
他購入前に申請が必要です。購入価格が1万円以上のときは見積書（またはカタログ）を添えて申請してください。詳しくは問い合わせください
申・問環境衛生課（☎752-3924）または各支所地域振興課

補助対象となるコンポスト容器の一例

このとき熱中&夢中

市民活動ネットワークひとサポが、旬な人・団体を紹介します。 114

季節で異なる草花を楽しめるよう、５月か９月のどちらかの最終土・日曜日に毎年交互に花展を開催しています。今年は９月30日㈯・10月1日㈰の２日間、午前10時～午後４時まで開催します（詳しくは16ページでも紹介・入場無料）。

野の花を活ける会

古民家空間を丸ごと楽しむ野の花展

５年前から活動する同会は、年に一回、築145年の古民家「奴奈川姫の家」にて野山の草花を使った「古民家で野の花展」を開催しています。平成23年の長野県北部地震で大きな被害を受けた松代室野の活性化のために、活動を続けています。

◆問合せ：岩田重信さん（☎090―5255―9699）

以前から集めていた農作業用の道具、囲炉裏の火棚、むしろを織る筬などの民具や古布も展示に活用します。市内外から集まる約12～13名のメンバーが、流派に関係なく季節感のある野山の草花を活けます。

元々茅葺きだった古民家を５年かけて改修。むき出しの梁や無垢材の床など、自然の木のぬくもりを生かし、力強い作品が並びます。花展に限らず、音楽や食事イベントなどで多くの人が交流できる場所を目指します。

会を運営する岩田重信さん（68歳・中条上町）夫妻は、自然の豊かさに魅力を感じていた松代室野で、古民家を見つけました。そんなとき、長野県北部地震が発生。被害を受けた室野に元気を取り戻すために、その古民家で野の花展を企画しています。はじめはチラシ作りほか周知に苦労しましたが、地道なPR活動が実を結び、毎回400人ほどが来場します。

自然の草花を使うため、訪れた人たちは「これは何の花だろう」という疑問に始まり、数々の作品をじっくりと鑑賞します。また、我が家にお招きしたという気持ちで来場者に抹茶をふるまい、一人ひとりとのふれあいを大切にしています。「皆さんが会話を楽しみ、ここが縁で友人になることもあります。大変ですが、苦労には代えられない充実感があります」と、岩田さんの妻・由起さん（63歳）は話します。

せわしない現代だからこそ、人の手をかけて作られたものや自然のものに触れ、出展した人も来場した人も、心が落ち着くような時間を提供していきます。

活動を紹介したい団体を募集しています
ひとサポ　☎761―7444

おらほのたから

―つなぐ知恵と技―

28

押し花づくり
五十嵐　江美子さん
（小荒戸・69歳）

「自分が思うように出来上がったときは本当にうれしい。でも、まだ一度も満足したことはないんだ」。平成７年から、押し花の制作活動を続けてきた江美子さんは言います。

飽き性という江美子さんですが、不思議と押し花には、のめり込んでいったそうです。「この辺りには素材となる花や植物はいくらでもあるから、制作には最高の環境なんだ」。庭から摘んできた花を見ながらうれしそうに話します。

最近は、松代の農舞台で展示や資料館で個展を開催したり、集落の老人クラブでワークショップを開催したり、楽しみながら活動しています。また、自宅は４年ほど前から民泊を行っており、民泊した子どもたちが押し花を使って作品づくりをしてくれるのが、何よりうれしいそうです。「誰かが私の作品と、この技術を継いでくれたらうれしいね」

「作品づくりで一度も満足したことはないね」

❶木の葉や野菜・きのこを素材とした作品。❷雪割草を使った作品。タイトル『春の妖精』。❸「好きなように、自由に、思うままに置いていくよ」。❹庭先で育てている黄花コスモス。❺虫喰いの葉「虫たちがいい仕事をするんだ」。❻民泊に来た子どもたち。家族へのお土産に、押し花のしおり作り。❼「花が咲いているのを見つけると、押し花にして残してあげたくなってね。興味のある植物は尽きないよ」

取材した人

地域おこし協力隊
吉川　裕子さん

里山が凝縮されたような作品や、普段目にする植物がいつもと違った表情をみせる作品など、身近なものを生かす感性を見習いたいです。

里山で育まれた知恵や技をぜひ紹介してください。自薦他薦は問いません。申し込み・問い合わせは企画政策課広報広聴係☎757―3112まで

ジュニア芸術祭

松代小学校 147

まつだいに いる ねこ

村山瑞季風（みりか）さん（1年）

まつだいにいるどうぶつで、こねこがすきなので、そのかたちにきってはりました。さくらのいろをかさねてぬって、くふうしました。

すてきな にわ

小野塚実椰（みや）さん（2年）

女の子がにわであそんでいるところをかきました。わたでくもやわたあめを作りました。にぎやかで楽しいにわになりました。

まつだいの森公園

池田有香莉（あかり）さん（3年）

今の松代に、こんな公園ができるといいなと思ってかきました。もっとしぜんゆたかになってほしいです。

お父さんと上がった松代城

山賀　宗司（そうし）さん（4年）

工夫したところは、木です。黄緑、緑、黄色を使って上手にかけてよかったです。

えんぴつ

小堺　健音（けんと）さん（5年）

草の中に黄色をまぜる工夫をして、点でぬりました。見てほしいところは、えんぴつの形です。大きくかけてよかったです。

三歳になった校舎

坂井みのりさん（6年）

グラウンドの色を、いろいろな色を試しながらぬりました。たいへんだったけど、がんばって作ることができ、よかったと思います。

■発行/十日町市役所　〒948-8501 新潟県十日町市千歳町３丁目３番地
E-mail koho@city.tokamachi.lg.jp URL http://www.city.tokamachi.lg.jp/ TEL.025-757-3112 FAX.025-752-4635
■編集/企画政策課広報広聴係